

- 問1 大航海時代における航海者とその影響について述べた文として、コロンブスの活動を正しく説明しているものはどれですか。 （2017年 長崎県公立入試 類似）

1. スペインの援助を受けて大西洋を横断し、ヨーロッパの人々にアメリカ大陸の存在が知られるきっかけを作った。

2. イタリアの商人として陸路でアジアを訪れ、東洋の状況を『東方見聞録』としてヨーロッパに紹介した。

3. ポルトガルの援助を受けてアフリカ南端の喜望峰を回り、インドへの直接航路を初めて開拓した。

4. スペインの援助を受けて世界周航に出発し、地球が丸いことを実証する一団の先頭に立った。
- 問2 戦国時代末期に出された法令の中に、「武器を蓄えた者が一揆を起こすことを防ぎ、年貢の減少を食い止めるために武器を全て集める」という趣旨の一節があります。この法令によって、武士と農民の区別を明確にした歴史的な動きを何と呼びますか。 （2014年 沖縄県公立入試 類似）

1. 知行制

2. 下剋上

3. 兵農分離

4. 惣村
- 問3 豊臣秀吉による2度の朝鮮出兵において、日本軍が朝鮮半島で戦った現地の王朝と、秀吉が征服の最終目標としていた中国の王朝の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2020年 岐阜県公立入試 類似）

1. 現地の王朝：新羅
目標とした王朝：唐

2. 現地の王朝：朝鮮（李氏朝鮮）
目標とした王朝：明

3. 現地の王朝：朝鮮（李氏朝鮮）
目標とした王朝：清

4. 現地の王朝：高麗
目標とした王朝：元
- 問4 1588年に豊臣秀吉が出した法令では、農民から刀、脇指、弓、槍、鉄砲などの武器を没収することが命じられました。太閤検地とともに進められたこの政策の主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 （2021年 静岡県公立入試 類似）

1. 武士と農民の身分を明確に区別し、一揆を防いで社会を安定させること

2. 外国からの侵略に備えるため、全国から鉄資源を回収して軍備を近代化すること

3. 没収した武器を溶かして大仏を造り、宗教の力だけで民衆を支配すること

4. 地方の有力な大名から武力を奪い、織田信長以来の中央集権体制を完成させること
- 問5 ルターが始めた宗教改革において、彼がローマ教皇の権威や教会の儀式よりも重要であると説き、信仰の唯一のよりどころとしたものは何ですか。 （2022年 愛知県公立入試 類似）

1. 十字軍への参加

2. 免罪符による罪の救済

3. 古代ギリシャ・ローマの古典文化

4. 聖書に記された神の言葉
- 問6 豊臣秀吉が宣教師の国外退去を命じた際、布教活動を禁じる一方で、ポルトガル人らとの「南蛮貿易」については継続を認めました。秀吉がこのように、宗教と貿易を切り離して対応しようとした背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2026年 富山県公立入試 類似）

1. 幕府が定めた鎖国体制を強化するために、まずは宣教師を排除してキリスト教の影響力を弱める必要があったから。

2. 宣教師が貿易の窓口となっていたため、国外追放をきっかけにオランダとの独占貿易に切り替えることを目的としたから。

3. キリスト教が広まることで日本人が団結し、一向一揆のような反乱が起きることを恐れたが、同時に西洋の優れた武器や物資を入手し続けたかったから。

4. 日本国内の仏教勢力を抑えるために、キリスト教の布教は制限したが、仏教徒が利用していた貿易ルートを確認したかったから。
- 問7 大航海時代において、スペインがマゼランの西回り航路による遠征を支援した歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2017年 岩手県公立入試 類似）

1. アメリカ大陸の広大な銀鉱山を開発し、国内で不足していた通貨を増産するための輸送路を確保するため

2. 地中海貿易で独占的な地位を築いていたイタリアの都市国家から、香辛料の輸入権を直接奪い取るため

3. ポルトガルが確保していたアフリカ南端を回る東回り航路に対抗し、アジアの香辛料産地への独自ルートを確保するため

4. 十字軍の失敗以来、衰退していたキリスト教の勢力を回復させるために、アジアに強力なキリスト教の同盟国を探すため
- 問8 豊臣秀吉が実施した「刀狩」の目的として、当時の社会状況に基づいた説明として最も適切なものを選択してください。 （2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 農民による一揆を防止するとともに、武士と農民の身分を明確に区別する兵農分離を進めるため。

2. 没収した武器の鉄や銅を溶かし、全国に流通させる貨幣の原料として再利用するため。

3. 農民をすべて兵士として雇い入れ、大陸への侵攻に向けた軍事力を強化するため。

4. 武器の所有を許可制にすることで、特定の有力な農民に村の自治を任せるため。
- 問9 豊臣秀吉が全国規模で実施した太閤検地において、土地の面積や生産量を調査した結果、その土地を実際に耕作している農民の姓名を記録するために作成された台帳を何といいますか。 （2023年 宮城県公立入試 類似）

1. 検地帳

2. 徳政令

3. 目安箱

4. 公事方御定書
- 問10 16世紀、ヨーロッパとの交流によってもたらされた「南蛮文化」において、新たに日本へ伝えられた学問や技術の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 （2016年 大分県公立入試 類似）

1. 儒学・薬学・建築術

2. 仏教・文学・製紙術

3. 国学・蘭学・測量術

4. 天文学・医学・航海術
- 問11 豊臣秀吉の時代、大名たちが自らの権威を誇示するために城の内部を飾らせた芸術に関し、金箔を背景に「唐獅子図屏風」などの力強く壮大な障壁画を描いた人物は誰ですか。 （2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 雪舟

2. 狩野永徳

3. 菱川師宣

4. 葛飾北斎
- 問12 16世紀のドイツにおいて、ルターがローマ・カトリック教会の腐敗を批判したことから始まり、ヨーロッパ各地に広がったキリスト教の革新運動を何といいますか。 （2017年 京都府公立入試 類似）

1. 宗教改革

2. ピューリタン革命

3. 十字軍

4. ルネサンス
- 問13 16世紀のヨーロッパでは、ルターやカルバンによる宗教改革が起こり、プロテスタントの勢力が拡大しました。これに対し、カトリック教会側が自己改革を行い、海外への布教活動を強化した動きの中で結成され、日本へもキリスト教を伝えた組織を何といいますか。 （2025年 鹿児島県公立入試 類似）

1. プロテスタント教会

2. ドミニコ会

3. テンプル騎士団

4. イエズス会

答え合わせ・解説

問1	答え 1 スペインの援助を受けて大西洋を横断し、ヨーロッパの人々にアメリカ大陸の存在が知られるきっかけを作った。	コロンブスの航海は、大西洋の先に未知の大陸（アメリカ大陸）があることをヨーロッパ社会に認識させる歴史的な転換点となりました。他の選択肢のうち、インド航路開拓はバスコ・ダ・ガマ、世界周航はマゼラン、東方見聞録はマルコ・ポーロの業績です。
問2	答え 3 兵農分離	刀狩を通じて農民から武力を奪い、農民は農業、武士は軍事と政治という役割分担を固定した仕組みを兵農分離と呼びます。太閤検地とともに、中世から近世へと社会構造を大きく変化した重要な転換点となりました。
問3	答え 2 現地の王朝：朝鮮（李氏朝鮮） 目標とした王朝：明	当時の朝鮮半島は朝鮮王朝（李氏朝鮮）が統治しており、李舜臣率いる水軍や各地の義勇軍が日本軍に対して激しい抵抗を続けました。秀吉が最終的な征服対象としていたのは中国の明ですが、明も朝鮮側に援軍を送って日本と戦いました。なお、清は明の後の時代に中国を支配した王朝です。
問4	答え 1 武士と農民の身分を明確に区別し、一揆を防いで社会を安定させること	豊臣秀吉は、農民から武器を没収する「刀狩」を行うことで、農民による一揆を未然に防ごうとしました。これに加えて、土地の生産力を調査して耕作者を確定させる「太閤検地」を並行して実施しました。これらの政策を通じて、武士は城下町に住み、農民は村で農業に専念するという「兵農分離」が推し進められ、江戸時代へと続く近世の身分制度の基礎が築かれました。
問5	答え 4 聖書に記された神の言葉	ルターは、人は教会の定めた儀式や免罪符の購入によって救われるのではなく、ただ神の言葉が記された「聖書」を信じることによってのみ救われると考えました（聖書主義）。この考えを広めるため、彼はラテン語で書かれていた聖書をドイツ語に翻訳し、一般の人々が直接聖書を読める環境を整えたことが、宗教改革の大きな特徴です。
問6	答え 3 キリスト教が広まることで日本人が団結し、一向一揆のような反乱が起きることを恐れたが、同時に西洋の優れた武器や物資を入し続けたかったから。	秀吉は、キリスト教徒が強固に団結することが天下統一後の支配の脅威になると考え、宣教師の国外追放を断行しました。しかし、当時は火縄銃の原料となる硝石や、中国産の生糸といった戦略的に重要な物資を南蛮貿易に頼っていたため、貿易の利益を失うことを避けるために宗教活動のみを制限しようと試みました。江戸時代の「鎖国」へと繋がる、キリスト教政策の初期段階の対応です。
問7	答え 3 ポルトガルが確保していたアフリカ南端を回る東回り航路に対抗し、アジアの香辛料産地への独自ルートを確保するため	15世紀後半から16世紀にかけて、ポルトガルがアフリカ南端の喜望峰を回ってインドへ到達する「東回り航路」を独占していました。これに焦りを感じたスペインは、地球が球体であるならば西へ進んでもアジア（モルッカ諸島などの香辛料産地）に到達できると考え、マゼランの航海を支援しました。この航海の成功によって、スペインは西回りのルートを確立し、世界規模の貿易競争を激化させることになりました。
問8	答え 1 農民による一揆を防止するとともに、武士と農民の身分を明確に区別する兵農分離を進めるため。	刀狩は、戦国時代に武装していた農民から武器を奪うことで、一揆の発生を抑止する狙いがありました。同時に進められた「太閤検地」と合わせることで、耕作者と年貢の負担者を確定させ、軍事担当の「武士」と農業担当の「百姓」という身分の違いを固定化する「兵農分離」を完成させる重要な役割を果たしました。
問9	答え 1 検地帳	豊臣秀吉は、それまでバラバラだったものさしや桝（ます）の単位を統一し、全国の土地の生産力を「石高」として表しました。この調査結果を記録した台帳には、実際に田畑を耕作している農民（一地一作人）が登録され、彼らが年貢を納める義務を持つことが明確に定められました。
問10	答え 4 天文学・医学・航海術	大航海時代にヨーロッパから来航したポルトガル人やスペイン人との貿易（南蛮貿易）を通じて、キリスト教だけでなく実用的な科学技術が導入されました。特に、遠洋航海に不可欠な天文学や航海術、そして当時の最新の医学などは、それまでの日本にはなかった体系的な知識として大きな影響を与えました。
問11	答え 2 狩野永徳	狩野永徳は桃山文化を代表する絵師であり、当時の天下人たちの好みに合わせたダイナミックな筆致の障壁画を数多く残しました。代表作である「唐獅子図屏風」は、当時の武士たちの力強さを象徴する傑作とされています。雪舟は室町時代の水墨画、北斎と師宣は江戸時代の浮世絵師です。
問12	答え 1 宗教改革	ルターやカルヴァンが、聖書を信仰の唯一のよりどころとして教会の権威を批判し、プロテスタントと呼ばれる新しい宗派を生み出した動きです。この運動により、キリスト教の世界は大きく二分されることになりました。
問13	答え 4 イエズス会	プロテスタントの台頭に危機感を持ったカトリック教会は、内部の腐敗を正す自己改革とともに、勢力を回復するための海外布教に力を入れました。この中心的な役割を担ったのがイエズス会であり、会員であるフランシスコ・ザビエルらによってアジアや日本へのキリスト教伝来が実現しました。